

沼津市の公共施設に関する市民意向調査結果報告書

1. 実施概要

【目的】

「沼津市公共施設マネジメント計画」の基本的な方針を定めるにあたり、実際に公共施設を利用している市民のみなさまに、現状を理解していただいた上で、公共施設に対するお考えやご意見を伺い、計画に反映することを目的として実施しました。

【実施時期】

発送：平成 28 年 2 月 10 日（水）（戸田地区のみ 2 月 9 日（火））

回収期限：平成 28 年 2 月 29 日（月）

【調査対象者】

沼津市内に住む 15 歳（高校 1 年生）から 79 歳まで

【調査対象者抽出方法】

無作為抽出

【発送数】

3,000 通（地域、年代別に発送数を決定）

地域	地区	配布数端数調整(地区別実数・人)							合計
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	
西部	原	30	61	60	50	41	41	28	311
	浮島	6	17	14	11	10	11	7	76
	愛鷹	23	46	46	37	29	31	20	232
東部	金岡	33	66	69	55	42	43	28	336
	大岡	27	61	62	54	36	33	25	298
	門池	22	43	51	41	30	29	20	236
中央西	今沢	9	14	18	14	12	16	12	95
	片浜	14	32	31	25	21	19	16	158
	第二	12	24	21	23	21	22	17	140
中央	第一	6	14	17	16	12	13	10	88
	第五	26	55	56	54	43	38	28	300
中央南	第三	31	59	59	56	43	43	35	326
	第四	13	24	28	26	21	21	17	150
	大平	6	9	10	9	8	10	8	60
南部	静浦	7	21	14	14	14	14	13	97
	内浦	3	5	4	5	4	4	4	29
	西浦	3	3	3	4	4	4	4	25
	戸田	2	5	6	5	8	9	8	43
合計		273	559	569	499	399	401	300	3,000

【回収率】

アンケート発送数 3,000 通に対し、総回収数は 798 通で回収率は 26.6%でした。うち有効回答は 788 通であることから、以下は 788 通を対象としています。

【施設分類】

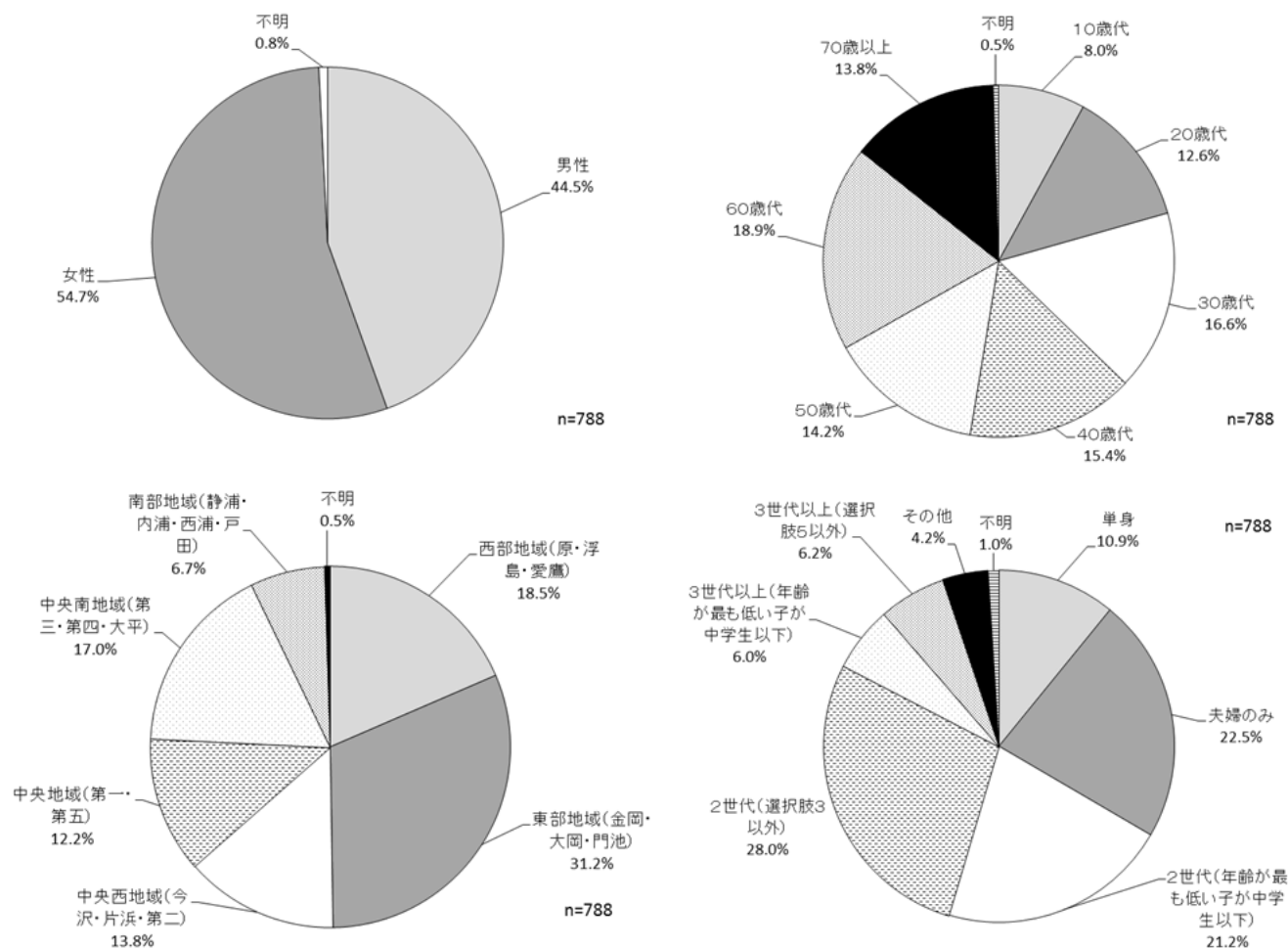
施設分類			主要施設
Ⅰ 一般施設	市民利用施設	(1) コミュニティ施設 (25 施設)	地区センター等
		(2) 学校教育施設 (70 施設)	小学校、中学校、市立高校、看護専門学校等
		(3) 社会教育・文化施設 (14 施設)	社会教育施設 (図書館、博物館等)、文化施設 (市民文化センター、キラメッセぬまづ) 歴史施設 (御用邸記念公園、原常笑園、松城邸)
		(4) 子育て施設 (45 施設)	保育所、幼稚園、子育て支援センター、放課後児童クラブ等
		(5) 福祉施設 (15 施設)	高齢者福祉施設 (老人福祉センター、デイサービスセンター等) その他福祉施設 (ぬまづ健康福祉プラザ、千本プラザ等)
		(6) 医療・保健施設 (5 施設)	医療施設 (市立病院、戸田診療所、夜間救急医療センター) 保健施設 (保健センター)
		(7) スポーツ・レクリエーション施設 (16 施設)	屋内スポーツ施設 (市民体育館、プール、武道場) ※学校施設を除く、屋外スポーツ施設 (市営野球場、愛鷹テニスコート)、観光施設 (水門展望施設びゅうお、道の駅くるら戸田)、その他レクリエーション施設 (キャンプ場、海水浴場、少年自然の家等)
		(8) 住宅等 (33 施設)	市営住宅、職員住宅、医師住宅等
		(9) その他市民利用施設 (6 施設)	香貫駐車場、沼津駅周辺の駐輪場、斎場等
	行政系施設	(10) 庁舎施設 (16 施設)	市庁舎、市民窓口事務所等
		(11) 消防施設 (56 施設)	消防庁舎、分遣所、消防団詰所、コミュニティ防災センター等
		(12) その他行政系施設 (12 施設)	倉庫等
Ⅱ プラント系施設		(13) プラント施設 (5 施設)	清掃プラント、衛生プラント等
Ⅲ インフラ系施設		(14) 都市公園施設 (5 施設)	公園管理棟
		(15) 上下水道施設 (13 施設)	水道部庁舎、送水管理センター、浄化センター等
Ⅳ 機能廃止予定施設		(16) 機能廃止予定施設 (14 施設)	旧小学校、旧中学校、旧分遣所等

【設問の一覧】

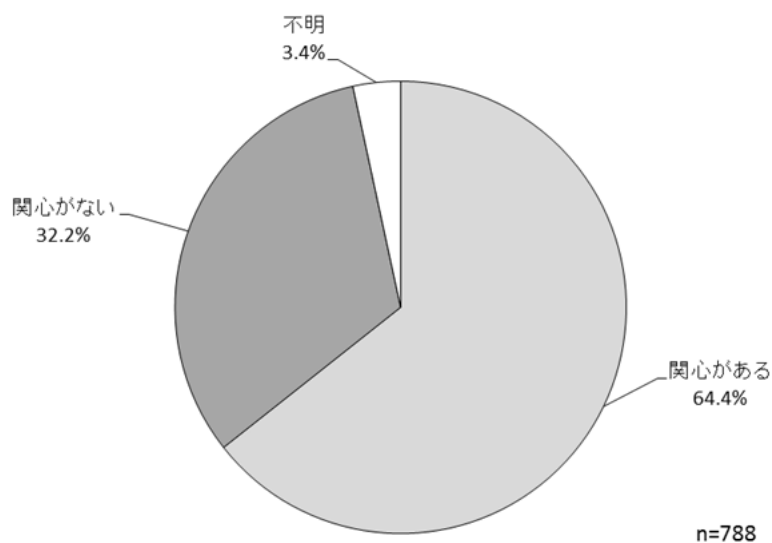
あなたご自身のことについて、お伺いします。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。 【性別】 / 【年齢】 / 【お住まいの地域】 / 【世帯構成】 / 【職業】	
問 1	あなたは公共施設マネジメントの取り組みに対して関心がありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけ、理由も記入してください。
問 2	あなたのこの 1 年間の公共施設の利用状況について、次の表の施設分類ごとに該当する欄 1 つに○をつけてください。なお、「ほとんど利用しなかった」を選んだものについては、その主な理由を次の①～④の中から 1 つ選んで理由欄に記入してください。なお、「ほとんど利用しなかった」を選んだものについては、その主な理由を次の①～④の中から 1 つ選んで理由欄に記入してください。
問 3	沼津市における公共施設マネジメントの取り組みを進めることで、どのようなまちになってほしいと思いますか。あなたの考えに近いものを 3 つ選んで番号に○をつけてください。
問 4	あなたは沼津市における公共施設の数やサービスの内容についてどう思いますか。施設分類ごとに数とサービスの内容について、最も近いものをそれぞれ 1 つずつ選んで該当する欄に○をつけてください。
問 5	今後、人口減少や少子高齢化が進むと想定される中で、将来の市民ニーズに対応させつつ効率的な公共施設の整備を行うためには、どうしたら良いと思いますか。次の考え方ごとにあなたの意見に最も近いものを 1 つ選んで該当する欄に○をつけてください。
問 6	将来の沼津市の姿を見据えた中で、あなたは公共施設の優先度をどのように考えますか。規模の縮小または廃止をしてもよいと考える施設分類を 5 つまで選んで番号を記入してください。
問 7	将来の沼津市の姿を見据えた中で、あなたは公共施設の※広域整備についてどのように考えますか。広域整備することが望ましいと考える施設分類を問 6 の施設分類から 5 つまで選んで番号を記入してください。
問 8	公共施設の有効活用を図る上で、あなたは公共施設の複合化についてどのように考えますか。複合化することが望ましいと考える施設分類を問 6 の施設分類から 5 つまで選んで番号を記入してください。
問 9	現在沼津市では、一部の公共施設の運営において※指定管理者制度や業務委託を導入し、民間事業者のノウハウやアイデアを活用して運営経費の削減等を行っています。今後、さらに民間資金を活用した施設運営を導入することについてどう思いますか。あなたの意見に最も近いものを 1 つ選んで番号に○をつけてください。
問 10	本市には、小中一貫校化により閉校した小中学校など、施設の統合等により使わなくなった土地や建物があります。これら未利用の土地・建物の活用について、あなたはどのように考えますか。次の考え方ごとにあなたの意見に最も近いものを 1 つ選んで該当する欄に○をつけてください。
問 11	その他、アンケート内容や公共施設 (施設例は別紙の「◆公共施設数と分類」をご覧ください) に関する市の取り組みについて、ご意見等ございましたらご記入ください。

【回答者の属性】

女性の割合が若干高く、年齢については60歳代の割合が最も高く、次いで30歳代、40歳代と続いています。住まいについては最も回答者数が多いのが東部地域、次いで西部、中央南と続いています。この割合は市内の人口分布の傾向と合致しています。世帯構成については、2世代が最も多く、次いで夫婦のみが続きます。



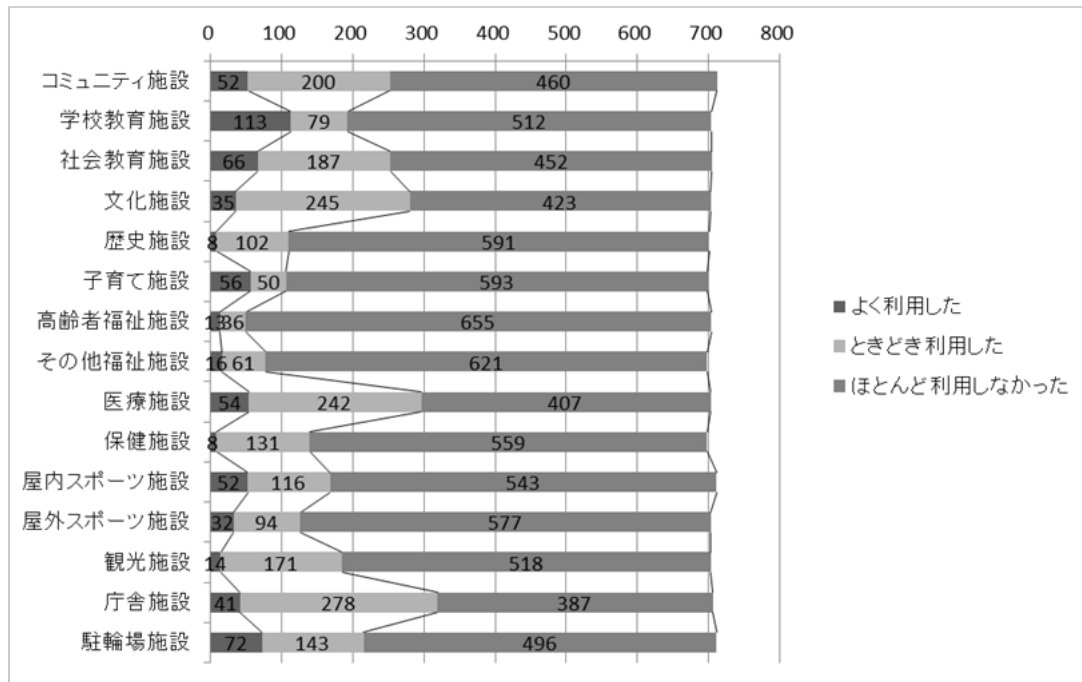
公共施設マネジメントの取り組みに対する関心があると答えた人は全体の6割以上を占めています。



【施設の利用状況】

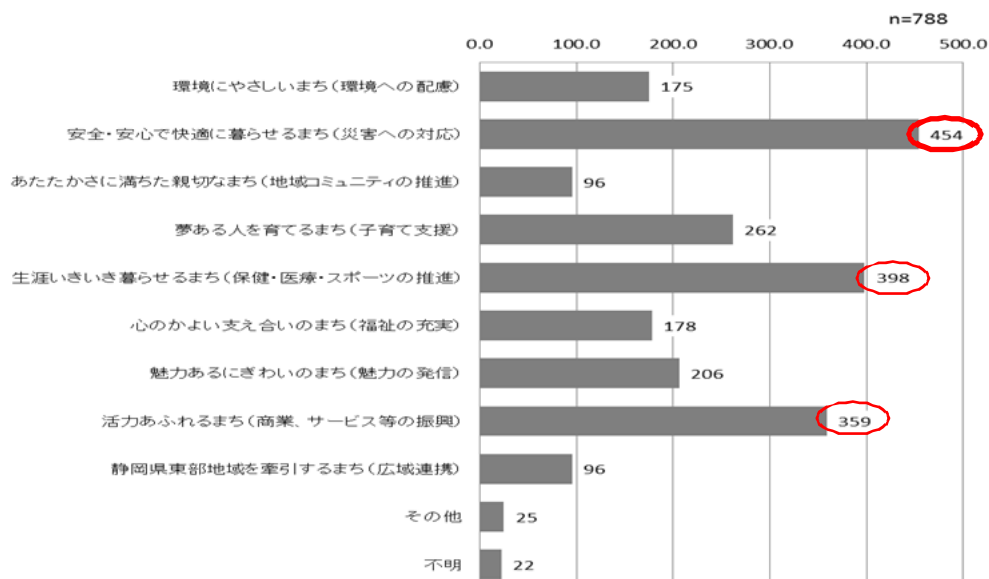
この1年間の公共施設の利用状況について、よく利用した及びときどき利用したとする人の割合が最も高かったのは庁舎施設、次いで医療施設、文化施設と続いています。中でも、よく利用したという回答が最も多かったのは学校教育施設で、次の社会教育施設の倍近くに達しています。一方、ほとんど利用しなかった人が多い施設は高齢者福祉施設、その他リクリエーション施設、子育て施設、歴史施設といった結果になりました。

ほとんど利用しなかった理由は利用する機会がなかったとする割合が高くなっていますが、設備・サービスに魅力がないとする人が比較的多かった施設としては、歴史施設（75人）、観光施設（73人）、屋内スポーツ施設※学校施設を除く（36人）、屋外スポーツ施設（32人）、文化施設（32人）などがあげられます。



【期待するまちづくり】

沼津市における公共施設マネジメントの取り組みを進めることで、どのようなまちになってほしいかについては、安全・安心で快適に暮らせるまちを選ぶ人が最も多く全体の454人（57.5%）が選択しています。ついで、生涯いきいき暮らせるまち、活力あふれるまちが続きます。いずれの年代でも安全・安心で快適に暮らせるまちを選ぶ人が最も多い傾向は同じですが、続く選択肢としては、20歳代、30歳代は夢ある人を育てるまちを選ぶ人が多い一方、それ以外の世代では生涯いきいき暮らせるまちを選ぶ人の方が多いという結果になりました。



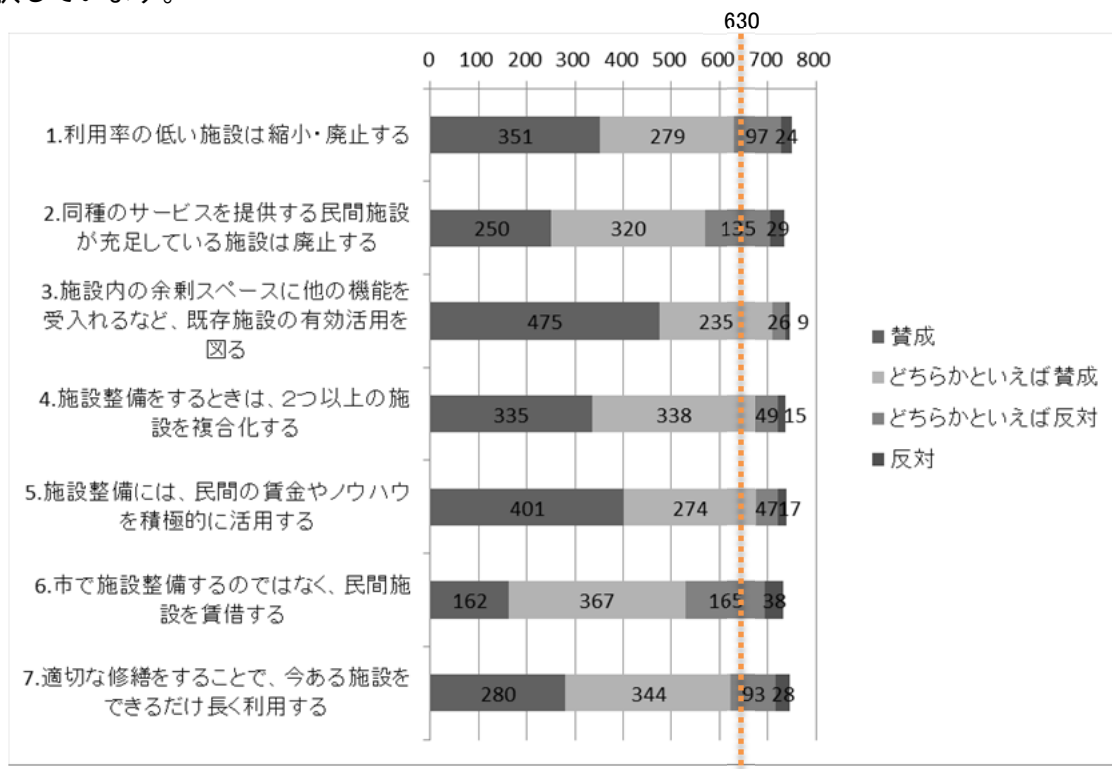
【施設の数とサービス】

施設分類ごとに施設の数とサービスの内容に対する満足度を調査した結果、施設の数が多いとされている施設は満足度が高く、また利用したことがない人の割合は低いという結果になっています。一方、利用したことがない人の割合が半数を超えている子育て施設、高齢者福祉施設は施設の数が少ないとする人の割合が高いです。また、利用したことがない人の割合が最も低い医療施設は、施設の数が少ないとする人の割合が比較的高いものの、満足とする人と不満とする人の割合が拮抗する結果となりました。

施設分類	施設の数について						サービスの内容について					
	多い		適正		少ない		満足/やや満足		やや不満/不満		利用したことがない	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
1 コミュニティ施設	46	5.8	519	65.9	98	12.4	311	39.5	117	14.8	307	39.0
2 学校教育施設	73	9.3	541	68.7	54	6.9	311	39.5	114	14.5	296	37.6
3 社会教育施設	17	2.2	425	53.9	204	25.9	275	34.9	156	19.8	293	37.2
4 文化施設	25	3.2	462	58.6	172	21.8	305	38.7	183	23.2	237	30.1
5 歴史施設	40	5.1	443	56.2	154	19.5	220	27.9	129	16.4	373	47.3
6 子育て施設	7	0.9	325	41.2	303	38.5	149	18.9	164	20.8	407	51.6
7 高齢者福祉施設	14	1.8	313	39.7	293	37.2	88	11.2	128	16.2	515	65.4
8 その他福祉施設	18	2.3	381	48.4	200	25.4	124	15.7	125	15.9	466	59.1
9 医療施設	6	0.8	406	51.5	269	34.1	271	34.4	265	33.6	185	23.5
10 保健施設	11	1.4	449	57.0	186	23.6	223	28.3	166	21.1	326	41.4
11 屋内スポーツ施設	10	1.3	323	41.0	318	40.4	154	19.5	253	32.1	322	40.9
12 屋外スポーツ施設	20	2.5	340	43.1	287	36.4	158	20.1	193	24.5	371	47.1
13 観光施設	13	1.6	277	35.2	373	47.3	168	21.3	253	32.1	299	37.9
14 その他産業施設	12	1.5	363	46.1	219	27.8	123	15.6	162	20.6	409	51.9
15 庁舎施設	30	3.8	562	71.3	75	9.5	304	38.6	199	25.3	211	26.8
16 駐輪場施設	10	1.3	373	47.3	267	33.9	171	21.7	227	28.8	326	41.4

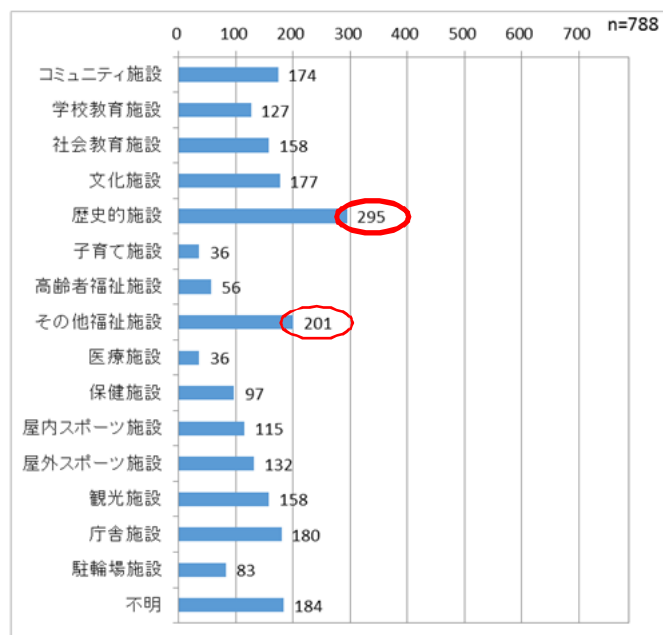
【効率的な公共施設の整備を行うための方策への賛否】

人口減少や少子高齢化が進むと想定される中で、将来の市民ニーズに対応させつつ効率的な公共施設の整備を行うための方策として、各選択肢で賛成あるいはどちらかといえば賛成を選択した人の合計を平均すると 630 でした。特に施設内の余剰スペースに他の機能を受入れるなど既存施設の有効活用を図ることについては 710 人（90.1%）、施設整備をするときは民間の資金やノウハウを積極的に活用するは 675 人（85.7%）、或いは 2 つ以上の施設を複合化するは 673 人（85.4%）といずれも 85% 以上が賛成するなど、いずれの選択肢についても賛成或いはどちらかといえば賛成とする人の割合が高い結果となっています。一方、比較的反対とする人が多かったのは、市で施設整備するのではなく、民間施設を賃借する、或いは同種のサービスを提供する民間施設が充足している施設は廃止するといった考え方ですが、そうした選択肢についても 7 割前後は賛成或いはどちらかといえば賛成を選択しています。



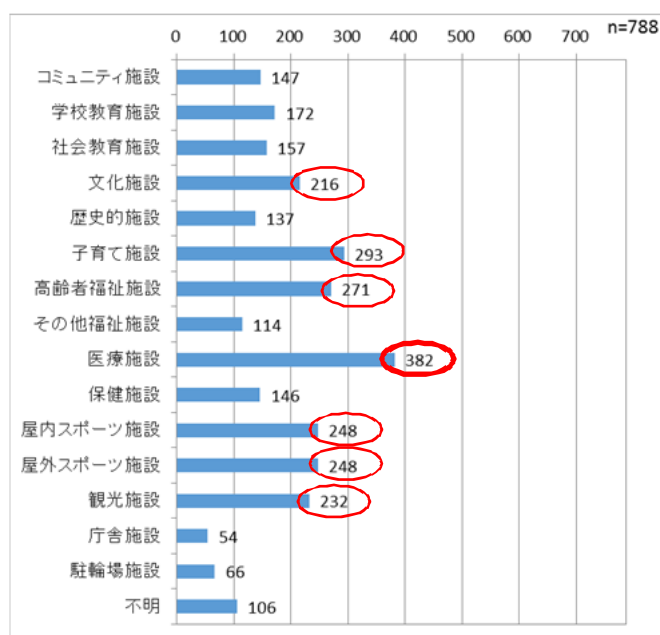
【施設規模の縮小・廃止】

施設規模の縮小又は廃止をしても良いと考える人の数が多い施設としては、歴史的施設、その他福祉施設などがあげられます。



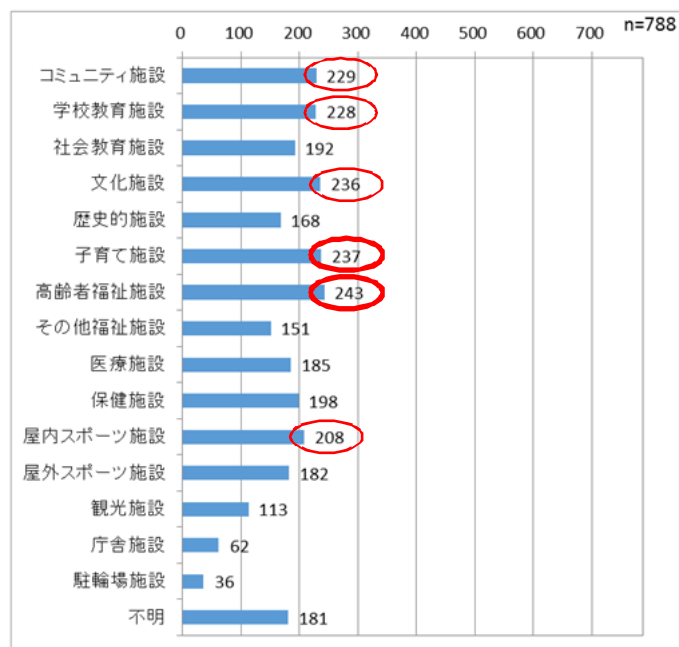
【施設の広域整備】

広域整備することが望ましいと考える施設分類については、医療施設、子育て施設、高齢者福祉施設などを選択する人が多いという結果になりました。



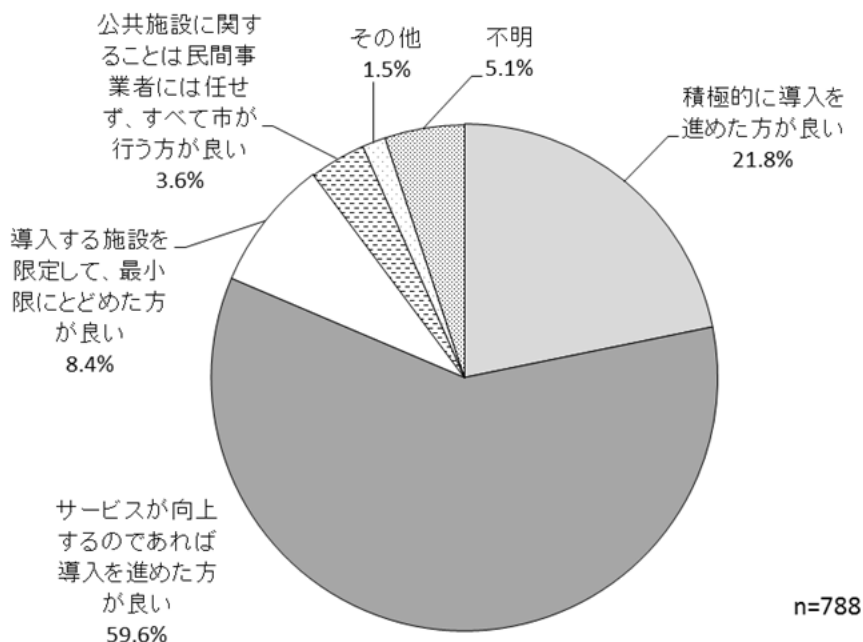
【施設の複合化】

複合化することが望ましいと考える施設については、高齢者福祉施設や子育て施設を挙げる人が最も多く、次いで文化施設、コミュニティ施設、学校教育施設が続いています。



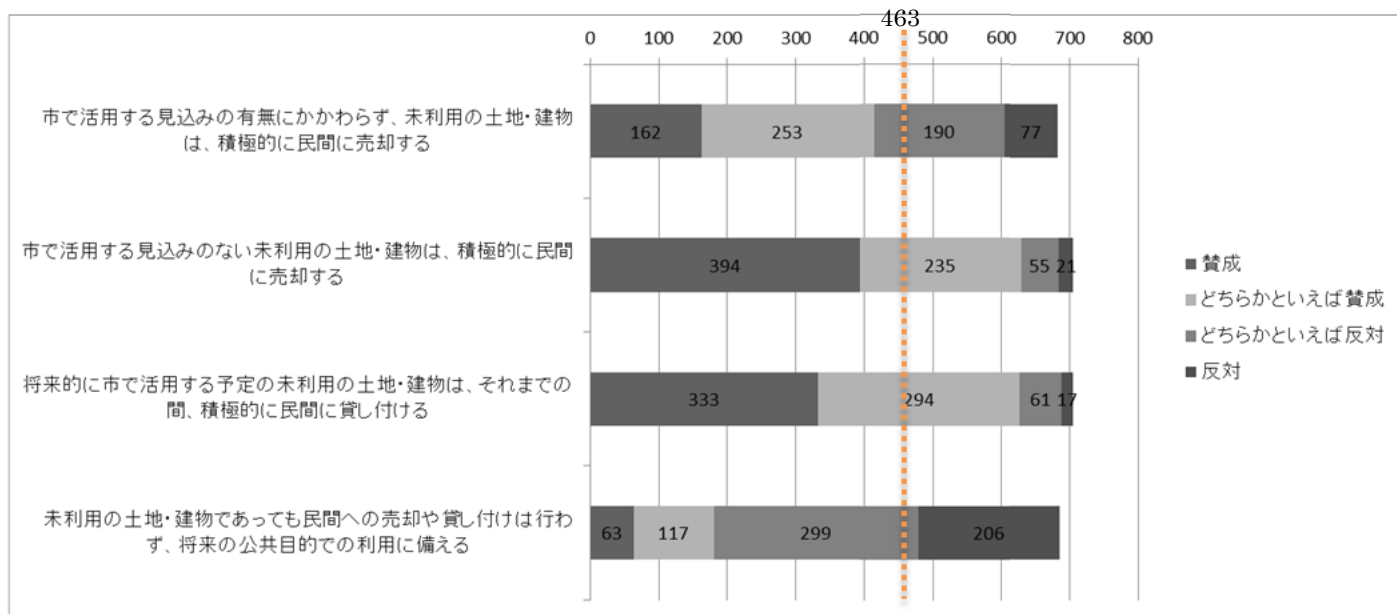
【指定管理者制度・委託化】

公共施設の運営における指定管理者制度や業務委託を導入については、サービスが向上するのであれば進めた方が良いとする人が6割程度、積極的に進めた方が良いとする人が2割程度で全体の8割程度を占めています。導入に積極的なのは40歳代、30歳代で最も消極的なのは10歳代といった結果となりました。



【未利用資産の活用】

未利用の土地・建物の活用に係る方策について、各選択肢で賛成あるいはどちらかといえば賛成を選択した人の合計を平均すると463でした。市で活用する見込みのないものは積極的に売却、或いは活用する予定がある場合は積極的に貸付、とする選択肢について、賛成或いはどちらかといえば賛成とする人の割合が高い結果となっています。一方、どちらかといえば反対或いは反対とする人が多かったのは、未利用であっても売却や貸付は行わず、将来の公共目的での利用に備えるとする選択肢で、505人（64.1%）が反対或いはどちらかといえば反対を選択しています。次いで市で活用する見込みの有無にかかわらず積極的に民間に売却することに反対或いはどちらかといえば反対とする人が267人（33.9%）と多い結果となりました。



まとめ

- 公共施設の利用状況では、ほとんど利用しなかったとする回答が全ての施設で過半数を超える結果 ⇒利用需要との現在量との乖離が推測される
- 期待するまちづくりとして「安心・安全で快適に暮らせるまち（防災への対応）」「生涯いきいき暮らせるまち（保健・医療・スポーツの推進）」「活力あふれるまち（商業、サービス行の振興）」「夢ある人を育てるまち（子育て支援）」の順に高く、特に 20～30 歳代から子育て支援を選ぶ方が多い傾向
⇒後期推進計画、総合戦略に掲げる本市の方針に合致した傾向
- 全体的には施設の数はい少ないと考える方が多い傾向にある中、学校教育施設のみ施設数が多いとする回答が少いとする回答を上回った
- 利用したことが無い、施設の数はい少ないとする回答者が多い
⇒施設整備や運営は税負担で賄われていること前提が理解されていないか
- 効率的な整理に向けた手法「利用率の低い施設の縮小・廃止」「民間による同種のサービスが充実している施設の廃止」「余剰スペースの別活用などによる、既存施設の有効活用」「2つ以上の施設を複合化して施設を整備する」「民間資金やノウハウの活用」「民間施設の貸借による施設整備」「適切な修繕による既存施設の長期活用」について 8～9 割の方が賛同
- 規模縮小・廃止しても良いとする意見が多い施設は、「歴史的施設」
- 広域的に整備するべきとする意見が多い施設は、「医療施設」「子育て施設」「高齢者福祉施設」「スポーツ施設」の順
- 施設の複合化については、庁舎施設、その他産業施設、観光施設、駐輪場施設を除き、概ね 20%以上の方が複合化することが望ましいと回答
- 指定管理者制度や委託化に対しては、サービス向上を前提に進めるべきとする意見が約 6 割
- 未利用資産の活用については、市が活用する見込みの無いものは積極的に売却、将来的に活用予定の資産については積極的に貸し付けるとする意見